

看護高等課程 准看護科 その教育目的と教育課程の考え方

★ 教 育 目 的 ★

看護職としての社会人基礎力を高め、人々の心身の健康を守るために必要な看護に関する専門的知識・技術を修得させる。

看護の対象と誠実に関わる態度を持ち信頼関係を構築し看護業務に実践的役割を果たせる人材を育成する

★ 教育課程の考え方 ★

2022年に准看護師養成所において卒業時の到達目標が明らかにされた。これは准看護師の業務範囲を再確認するとともにさらに専門的知識、技術の修得を継続させ自らの質を高めるビジョンを持つことのできる人材育成が求められていると考える。

本校の准看護科の教育対象は、看護職を目指す10歳代から50歳代までの幅広い年齢層の人たちであり、男女問わずその社会的背景も多様である。目的を同じくした人たちがお互いの理解のために積極的にコミュニケーションをとることで、さまざまな価値観や人生観を知り、観察力や洞察力が身についていくと考える。

また、看護の基盤である「感性豊かな看護職」の育成を目指すため、「他者理解のために自己の在り方を問う姿勢」を求めている。看護職を目指すものとして「看護とは」「看護師とは」を学ぶなかから、超高齢多死社会に向かう人々の健康と暮らしや人が人として生きていくことの意味、「生命の尊厳を守ること」について考え、人の生命にかかわる職業選択をしようとしている自己の在り方を問い続けることのできる人材の育成を目指している。

本校では両課程ともに看護職としての社会人基礎力を基盤にした教育を目指している。看護はいずれも人と人の命にかかわる職業であり、専門性とともに人としての思考、行動、倫理的な態度が求められる。入学時から看護職に求められる社会人基礎力を基盤に機会あるごとにビジョン・ゴールを明確にし、その資質を問いかけている。そしてどのような時でも成長を振り返ることができるように取り組んでいる。これを教育活動のなかで可視化し考えさせることで一人の社会人として看護職を選択した自らの意志と存在を自覚し、一人の人としてまたチームの一員として自分の在り方を考え続けることのできる姿勢を身につけさせたいと考えている。